

調査概要

目的：学力や学習状況の把握・分析により、教育施策の成果と課題の把握・検証・改善を図り、指導充実等に役立てる。

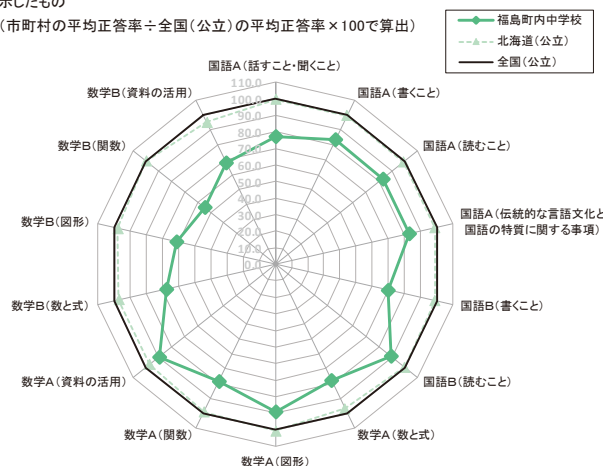
対象：小学6年生 中学3年生

内容：①教科：国語・算数・数学の調査
・主に知識に関する問題（A） ・主に活用に関する問題（B）
②児童生徒質問調査・学校向け質問調査

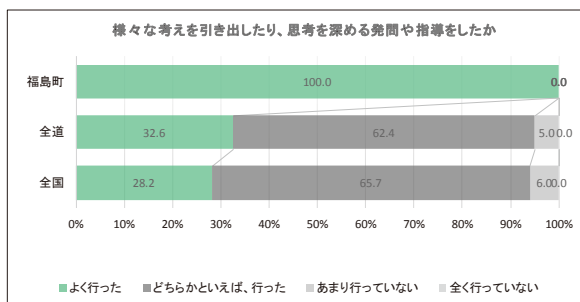
■福島町内中学校の状況及び学力向上策（学校数：1、生徒数：30名）

【教科全体の状況】

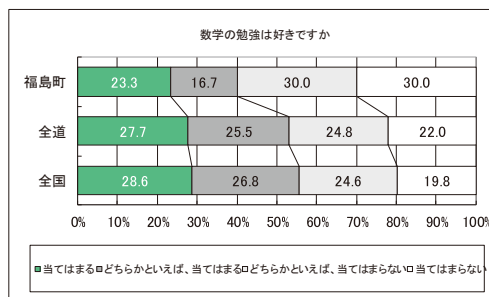
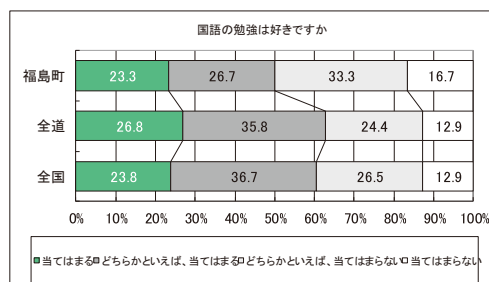
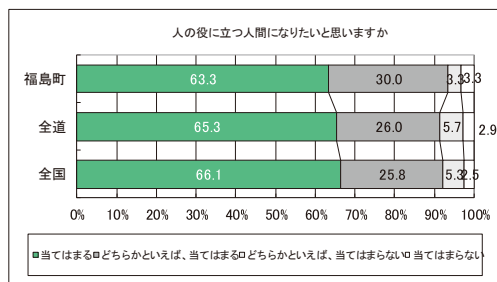
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【分析】

教科	○国語 A・B では、すべての項目で全国を下回っている。 ○数学 A・B では、すべての項目で全国を下回っている。 ○全体的に前年度より下がっているが、国語 B「読むこと」、数学 A「関数」、数学 B「図形」「資料と活用」においては前年度より正答率が高くなっている。	○国語は「語彙力、コミュニケーション不足」、数学は「数学的な見方（論理的思考）不足」であり、総じて「言語活動の充実」が課題である。
児童質問紙	○人の役に立つ人間になりたいと思いますかは全国を下回っている。 ○国語・数学の勉強が好きな生徒は全国を下回っている。	○「自尊感情」が低い生徒が多いので、全教育活動を通して「自己有用感」を持たせられるよう、指導している。
学校質問紙	○様々な考えを引き出したり、思考を深めるような発問や指導をしたかについては全国を上回っている。	○「発問」「板書」を中心とした授業改善を継続中である。

【福島町の学力向上策】

◎基礎的・基本的な知識の技能の定着を図るための計画的な取り組み
◎思考力・判断力・表現力等を育成するための計画的な取り組み

◎チーム・ティーチングによる習熟度に応じた個別指導の充実
◎放課後や長期休業中のサポート学習の強化